

令和 8 年 7 月 2 9 日
中 部 地 方 整 備 局

熊本県の港湾へ浚渫兼油回収船「清龍丸」を派遣します

～令和 8 年熊本地震に関する中部地方整備局の取り組み～

令和 8 年 7 月 2 8 日の熊本地震を踏まえ、中部地方整備局は、名古屋港で浚渫作業を行っていた浚渫兼油回収船「清龍丸」を、緊急支援物資輸送と入浴支援のため、熊本県内の港湾へ向けて派遣します。

1. 活動場所：

九州地方整備局管内 熊本県八代港等

2. 支援活動の内容：

支援物資の輸送（水、食料）等

・ 飲料水：500ml × 約 4580 本

2000ml × 約 1560 本

・ 主食：約 4,170 食

・ 副食：約 2,700 食

※入浴支援については、準備ができ次第対応

3. 出発場所：

名古屋港空見ふ頭

フェリーターミナル南側

V 3 岸壁前（別紙参照）



清龍丸（別紙参照）

4. 派遣日時：

令和 8 年 7 月 2 9 日（水） 1 8 : 0 0 出発

（出発式：令和 8 年 7 月 2 9 日（水） 1 7 : 4 5）

【配布先】

中部地方整備局記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、
日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

【問い合わせ先】

中部地方整備局 港湾空港部

港湾防災・危機管理課 ： 0 5 2 - 2 0 9 - 6 3 2 8

課長 西尾 賢二

課長補佐 林 友弥

【浚渫兼油回収船「清龍丸」】

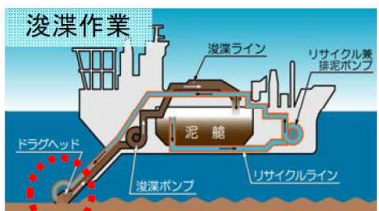
国土交通省では、全国に3隻の浚渫兼油回収船を保有しており、その1隻である「清龍丸」は、大規模油流出事故に備えるとともに、平時は名古屋港において航路や泊地の浚渫作業を行っています。

また、大規模な災害では、緊急支援物資の運搬や給水・入浴等の支援が可能な船であり、東日本大震災や西日本豪雨、平成28年の熊本地震でも支援を行っています。

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
- 高精度で平坦浚渫を可能とする幅広なセンタードラッグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時の支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
- 情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等を目的としてヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。

災害支援 災害支援機能

迅速な被災状況の把握、人員・物資輸送に対応可能。
ヘリコプターデッキや災害対策室、望遠カメラなど災害支援に必要な機器を装備。



地震・豪雨災害への支援実績

清龍丸の活躍

緊急支援物資(食料品、飲料水、生活用品等)を海上輸送。
船のタンクからの給水支援、船内浴室を開放した入浴支援。

平成23年 東日本大震災

平成28年 熊本地震

平成30年 西日本豪雨



釜石港にて支援物資陸揚げ



大分港にて支援物資を陸揚げ



堺泉北港～呉港へ
支援物資を輸送



苫小牧港～大船度港へ輸送



三角港にて入浴支援



呉港にて入浴・洗濯支援